

## よりよい練馬区の図書館をつくる会寄合いメモ

と き : 05年6月21日 18:30~20:55

と ころ : 光が丘図書館

参加者 : 15人

話 合 : 「みなさんで話し合い、考え合い、よりよい方針と具体的行動を見出しましょう」(関さんのおさそい文)

教育委員会で陳情の一括不採択が決定され、このほど労働組合に対して、図書館業務委託の提案がされました。

- ・ 4月26日教育委員会で陳情一括不採択の決定
- ・ 5月13日付で陳情不採択回答発行(教育委員長名)
- ・ 6月15日教育委員会に対し、陳情不採択回答についての説明要請を提出
  - : 公式議事録・陳情書・同補足説明書をもとに、委託化の疑問点を具体的に質問
  - : 委託化とは直接関連しない他の陳情4項目も、一括不採択にした理由の具体的説明
- ・ 6月16日労働組合に対して図書館業務委託の正式提案
  - : 委託化により財源を捻出、開館日、開館時間の拡大、資料の充実、新規事業の展開を実施
  - : 11月上旬、受託業者の選定を予定

このような状況の中で、率直な考えを全員が出し合いましょう。

- ・ 委託化がどのような形で進んでも、利用者・住民の意向が図書館運営に反映されることの保証が、重要です。
- ・ 委託化がどうなるかは、住民パワーにかかっています。すぐに行動を。
  - : ビラまき、ポスター貼りなど、できることを、明日からでもやりましょう。
  - : 5/26集会に結集された労組の盛り上がりは、大きなものがあつたが、労組の力だけでは、大勢を変えることはなかなか難しい。
  - : 団体交渉は、矛盾点を突くなど多角的に詰めていき、それに合わせて、労組内部の盛り上がりを図っていくことになるでしょう。
- ・ 利用者・区民の支持を得られるかが鍵です。
  - : 今、例えば、委託反対で座りこんでも、理解が得られにくいのではないのでしょうか。
  - : 委託化の問題点が、だれでも「なるほど」というように、明らかになっていません。
  - : よりよい・・・会としては、教育委員会への説明要請や区議会文教児童青少年委員会での審議内容を通じて、問題点を明らかにするしか方法がないが、時間がかかります。
  - : 11月業者選定の日程を考えると、労組の団体交渉で早く問題点を詰めて欲しい。
- ・ 今回の正式提案は、労使協議会に提示されたものに比べると、現場の実情をよく勉強し反映しています。甘く考えないほうがよいと思います。
- ・ 胃が痛い。この計画でやっていけるのでしょうか疑問です。
  - : 子や孫の世代は、どうなってしまうのかと心配です。
  - : どうしたら、利用者・区民に訴えられるのか考えています。
- ・ 私たちはどうなるんでしょう。
  - : 委託会社のチーフとだけしか話せないで、利用者にサービスができるのでしょうか。
  - : 間接的なやりとりになり、時間のロスも多いような気がします。
  - : 実務に携わっていないとシステムも分からないという事態にならないのでしょうか。
- ・ 委託化で浮いた財源で資料の充実というが、本当に遣える保証があるのでしょうか。
- ・ 委託社員以外の要員は、協力員の退職補充をしないとのことなので、協力員が退職すると仕事に差支えるのではないのでしょうか。
- ・ 今まで、図書館毎の創意工夫で仕事を進めてきたが、委託なら業務は統一した方がよいと思ってきました。

- ・ 委託化の話が出始めた2年前に館外から異動して来た人に対して、「あなたが最後の異動ね」と言った話を思い出しました。みんな引き気味の姿勢です。
- ・ 提案内容を見て、自分の立場と引き比べてみると、果たして自分は図書館に残れるのだろうかと考えてしまいます。
- ・ 区民に訴えるには、的を絞らないとインパクトのある共感は得られにくいでしょう。
  - ： レファレンス
  - ： 職員の質的問題（定着率、育成、蓄積）
  - ： コスト問題
- ・ 中野区の図書館では、委託化したら利用者の順番待ちの列が、以前より少なくなったほどサービスがよいとは言えないのに、行政評価は最高とのこと、やりがいがなくなってしまいます。
- ・ 提案内容の要員配置で、新規事業ができるか大いに疑問です。
- ・ NPOなども考え、先取りが必要ではないでしょうか。
  - ： 別途考える課題としましょう。
  - ： 障害者支援業務など専門NPOも考えてよいのでは。
  - ： リーダーがいるかどうかにかかっています。
- ・ レファレンスの問題を突きながら、新しい職員の教育をどう作り上げるのかを問うていくのがよいでしょう。
  - ： 人材育成をどうやっていくのかが、問題です。
  - ： レファレンスに絞るのがよい。一年では到底できません。継続的に培う努力なしには向上しません。
- ・ コスト比較と削減分の充当率UPの努力をして欲しい。
- ・ 外に向かって、民間委託反対・阻止の意思表示をする以外にないのでは。
  - ： 有名人を招いて集会を計画してはいかがでしょう。
- ・ 現場を知らない人ができるというなら、この計画をやらせてみては。
  - ： 行政評価ではっきりしていったらどうでしょうか。
  - ： 行政は「数」の評価、私たちの会は「質」を問題にしています。中野の話でも行政評価は当てになりません。
  - ： 練馬区報によると、行政評価委員会の第三者評価では内部評価がそのまま妥当とはされていないようです。
- ・ 日常業務に携わらないで、事業はできません。
  - ： 空っぽの人や新人ではできません。
- ・ なんとかしても、委託は阻止しなければならないと思います。
  - ： 協力員の定数を増やさないと、おかしいと思っていましたが、委託化の準備だったのです。
- ・ 今回の提案を見て、ずっと重みがありました。
  - ： 何回も読み返したら、委託会社のチーフが心配です。ばたばた倒れているとの話を聞きましたが、まじめにやったらできないでしょう。
  - ： 委託職場に残った職員は、それを見るのがつらく、ストレスがかかります。
  - ： 健康管理の面からも対策が必要でしょう。例えば、公正労働基準、公契約条例問題など。
- ・ 利用者の参画する道を作ることが大切です。
  - ： 図書館協議会などは、再陳情の道もあります。
- ・ それぞれの立場（常勤職員、協力員、利用者）で、自分の考えや感想と共に、同じ立場の人たちの、意向や雰囲気を含めてお知らせください。（連絡先は伊藤まで）
  - ： 状況をできるだけ正確に掴んで対応しないと、有効なものにならないからです。
- ・ 委託化されると、選書や除籍、各種事業ができないとの発言がありましたが、納得できません。
  - ： 本に触れたり、フロアワークに出たり、工夫をし積極的に行動すればやれるのではありませんか。
  - ： もし、それでもできないのであれば、一般利用者・区民を納得させるような、分かりやすい説明をお願いします。

以上